

平成 28 年度 第 6 回 治験審査委員会

1. 日時:平成 29 年 3 月 27 日(月) 午後 5 時 30 分～午後 6 時 45 分

2. 場所:治験管理室

3. 出席者 13 名

委員長	医師	副院長兼臨床研究部長	味岡 正純
副委員長	薬剤師	薬剤部長兼臨床研究部次長	鷹見 繁宏
委員	医師	呼吸器・アレルギー疾患内科主任部長	近藤 康博
	医師	神経内科主任部長	湯浅 浩之
	医師	消化器内科部長	松浦 哲生
	医師	腎臓内科部長	稲葉 慎一郎
	技師	臨床検査部技師長	瀧本 淳
	看護師	看護管理部長	水野 康子
	看護師	外来第一係看護師主任	小山田 信子
	事務	薬品管理室主幹兼臨床研究部治験管理室主幹	柴山 浩二
	事務	薬品管理室主査兼臨床研究部治験管理室主査	大島 慶子
外部委員		元公立瀬戸旭看護専門学校事務局長	横江 俊次
		元瀬戸市ノベルティこども創造館館長	加藤 流慈

欠席者 3 名

医師	外科部長	大河内 治
医師	整形外科部長	山上 貴也
事務	管財経理課長	稲垣 克之

審議については、治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4を満たしたため、会が成立審議を始めた。

4. 議題

【審議事項】

- 1) グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による喘息患者を対象とした GSK2834425 (フルチカゾンフランカルボン酸エステル/ウメクリジニウム臭化物/ビランテロールトリフェニル酢酸塩) の第Ⅲ相試験

(グラクソ・スミスクライン)

⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 2) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による標準的治療でコントロール不十分な喘息患者を対象とした QAW039 の第Ⅲ相安全性試験

(ノバルティスファーマ)

⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 3) ACZ885 の心筋梗塞後の安定した患者を対象とした第Ⅲ相試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 4) 中外製薬株式会社の依頼による喘息患者を対象とした RO5490255 の第Ⅲ相試験

(中外)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 5) 気管内挿管が行われ、人工呼吸器が装着されたグラム陰性菌性肺炎患者を対象として、BAY 41-6551 による補助療法の安全性及び有効性を検討することを目的とした前向き、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、国際共同治験

(バイエル)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 6) 中外製薬株式会社の依頼による第Ⅱ相試験

(中外)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 7) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による急性心不全患者を対象とした RLX030 の第Ⅲ相試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 8) 喘息患者を対象とした CAT-354 の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相試験

(アストラゼネカ)

⇒治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 9) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による COPD 患者を対象としたチオトロピウム+オロダテロールの COPD 増悪に対する効果を評価する第Ⅲ相試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒(2017.1.31) 治験実施計画書別紙1の変更について審議した。

⇒治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 10) 塞栓源を特定できない塞栓性脳卒中 (ESUS) 発症後間もない患者を対象とする再発性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制におけるリバーロキサバン (15mg 1日1回投与) のアスピリン (100mg) に対する有用性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、ダブルダミー、実薬対照、イベント主導型、第Ⅲ相優越性試験 (NAVIGATE ESUS)

(バイエル)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒(2017.3.10) 治験薬概要書の変更について審議した。

⇒治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 11) 左室駆出率が低下した日本人慢性心不全患者を対象とした LCZ696 の第Ⅲ相試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

12) Pearl Therapeutics, Inc. による COPD を対象とした PT003、PT005、および PT001 の第Ⅲ相試験

(Pearl Therapeutics)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
⇒(2017. 2. 27) 説明文書、同意文書の変更について審議した。
審議結果:承認

13) グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による COPD 患者を対象とした GSK2834425 (フルチカゾンフランカルボン酸エステル/ウメクリジニウム臭化物/ビランテロールトリフェニル酢酸塩) の第Ⅲ相試験

(グラクソ・スミスクライン)

⇒(2017. 3. 8) 治験薬概要書の変更について審議した。
審議結果:承認

14) COPD 患者を対象とした MEDI563/KHK4563 の第Ⅲ相臨床試験

(協和発酵キリン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
審議結果:承認

15) 冠動脈疾患を合併した非代償性心不全発現後の心不全患者における全死亡、心筋梗塞及び脳卒中発症の抑制に関して、プラセボを対照としたリバーロキサバンの有効性及び安全性を検討することを目的とした無作為化、二重盲検、イベント主導型、多施設共同試験

(バイエル)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
審議結果:承認

16) 持続型喘息の患者を対象とした dupilumab の第Ⅲ相試験

(サノフィ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
審議結果:承認

17) ONO-1162 第Ⅲ相試験 慢性心不全に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験

(小野)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
審議結果:承認

18) COPD 患者を対象にチオトロピウム+オロダテロールの肺過膨脹に対する効果を評価する第Ⅲ相試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 19) Pearl Therapeutics, Inc. の依頼による COPD の増悪に対する PT010、PT003、および PT009 の第Ⅲ相試験

(Pearl Therapeutics)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 20) Pearl Therapeutics, Inc. の依頼による COPD を対象とした PT010、PT003、PT009 および Symbicort®Turbuhaler®の第Ⅲ相試験

(Pearl Therapeutics)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2017. 3. 13) 治験実施計画書別紙 A 5. 開発業務委託機関 5.1 モニタリング (3) 治験担当者の連絡先の変更について審議した。

⇒ (2017. 3. 3) 契約症例数の変更について審議した。(迅速審査)

審議結果:承認

- 21) 特発性肺線維症の急性増悪に対する ART-123 の第 3 相臨床試験

—ART-123 の有効性および安全性を検討する多施設共同二重盲検比較試験—

(旭化成ファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒ (2017. 3. 9) 治験実施計画書 別紙 4 の変更について審議した。

審議結果:承認

- 22) 「間質性肺疾患を伴う全身性強皮症」(SSc-ILD) の患者を対象に、ニンテダニブを少なくとも 52 週間経口投与した際の有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒ (2017. 3. 14) 治験実施計画書、治験実施計画書 protocol reference 1、同意説明文書、治験薬概要書の変更について審議した。

⇒治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

⇒ (2017. 2. 3) 契約症例数の追加について審議した。(迅速審査)

審議結果:承認

- 23) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による左室駆出率が保持された心不全患者を対象とした LCZ696 の第Ⅲ相国際共同試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

⇒治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果:承認

- 24) MSD 株式会社の依頼による MK-1029 の第Ⅱ相試験

(MSD)

⇒ (2017. 3. 9) 患者さんへの説明文書および同意文書の変更について審議した。

審議結果:承認

- 25) 第一三共株式会社の依頼による非弁膜症性心房細動患者を対象とした DU-176b (エドキサバン) 第 III 相試験
(第一三共)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
⇒(2017. 2. 24) 目標とする被験者数の変更について審議した。(迅速審査)
審議結果:承認

- 26) 杏林製薬株式会社の依頼による KRP-AM1977Y 第 III 相臨床試験 (市中肺炎)
(杏林)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒(2017. 3. 8) 治験実施計画書、治験薬概要書の変更について審議した。
審議結果:承認

- 27) 杏林製薬株式会社の依頼による KRP-AM1977Y 第 III 相臨床試験 (呼吸器感染症)
(杏林)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒(2017. 3. 8) 治験実施計画書、治験薬概要書の変更について審議した。
審議結果:承認

- 28) (治験国内管理人) クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社の依頼による進行非小細胞肺癌患者を対象とした BI 695502 の第 3 相試験
(クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

- 29) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者を対象としたニンテダニブの製造販売後臨床試験
(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
⇒(2017. 1. 25) 契約書の変更について審議した。(迅速審査)
審議結果:承認

- 30) Respiratory Syncytial ウイルス感染症により入院した成人を対象とした ALS-008176 を経口投与したときの抗ウイルス活性、臨床アウトカム、安全性、忍容性、及び薬物動態の検討のための後期第 2 相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験
(ヤンセンファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。
⇒(2017. 2. 15) Investigator's Brochure、治験薬概要書(和訳版)(2017. 3. 10) Clinical Protocol、治験実施計画書(和訳版)、説明文書および同意書(パート 1)、説明文書および同意書(パート 2)、治験参加カード、鼻腔拭い液の採取 採取及び保存の方法、医師用ポスター、患者様用ポスター、治験に関わる費用負担 補則 2 の変更について審議した。
審議結果:承認

- 31) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者を対象としたニンテダニブとシルデナフィルを併用投与する第Ⅲb 相試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2017.3.14) 説明書、同意文書 治験薬概要書の変更について審議した。

審議結果:承認

- 32) Pearl Therapeutics, Inc. の依頼による COPD を対象とした PT010、PT003、PT009 および Symbicort® Turbuhaler®の第Ⅲ相継続試験

(Pearl Therapeutics)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 33) 進行性線維化を伴う間質性肺疾患 (PF-ILD) 患者を対象としたニンテダニブの有効性及び安全性検討試験

(日本ベーリンガーインゲルハイム)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 34) Dupilumab の喘息に関する前試験に参加した喘息患者を対象とした dupilumab の後期第Ⅱ相/Ⅲ相試験

(サノフィ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

審議結果:承認

- 35) 富山化学工業株式会社の依頼による市中肺炎を対象としたソリスロマイシンの臨床第Ⅲ相試験

(富山化学)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2017.3.9) 治験実施計画書 別紙1 治験実施体制、説明文書、同意文書、治験薬概要書の変更について審議した。

審議結果:承認

- 36) 富山化学工業株式会社の依頼による呼吸器感染症を対象としたソリスロマイシンの臨床第Ⅲ相試験

(富山化学)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2017.3.9) 治験実施計画書 別紙1 治験実施体制、説明文書、同意文書、治験薬概要書の変更について審議した。

審議結果:承認

(その他)

- 1) 医師主導治験における治験標準業務手順書
医師主導治験における治験審査委員会標準業務手順書
医師主導治験統一書式
審議結果:承認
- 2) 治験等に係る書類における押印省略の運用について
審議結果:承認

【報告事項】

(終了報告)

- 1) 除細動を実施する非弁膜症性心房細動患者を対象にアピキサバンの有用性評価を標準的な抗凝固療法を対照に行うことを目的とした国際共同製造販売後臨床試験（第Ⅳ相）
(ファイザー)

- 2) 中外製薬株式会社の依頼による喘息患者を対象とした RO5490255 の第Ⅲ相試験
(中外)

(開発中止等に関する報告)

- 1) シロスタゾールの市販後臨床試験
-脳梗塞に対するアスピリンとの比較における検証的試験-
(大塚)

【次回開催日】

平成 29 年 5 月 22 日(月) 17 時 30 分より